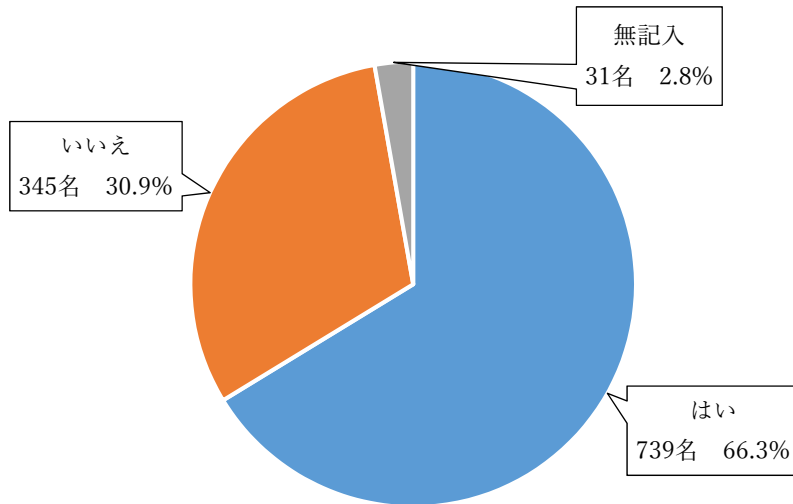


第4章 結果の概要

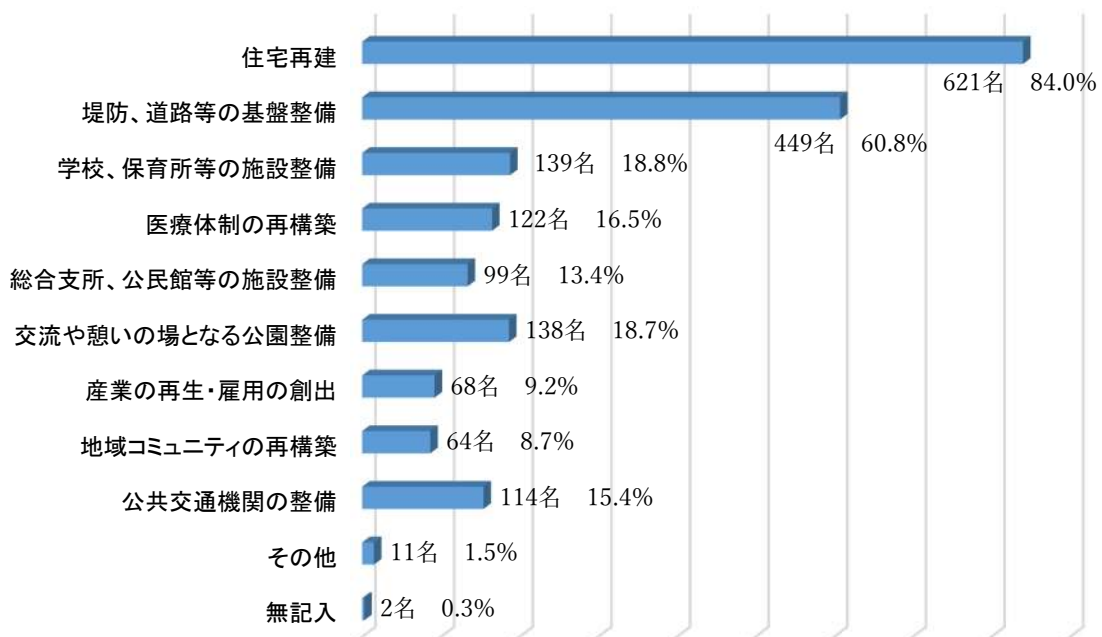
※構成比は、小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計が100%にならない場合があります。

1 東日本大震災に伴う復旧・復興事業について

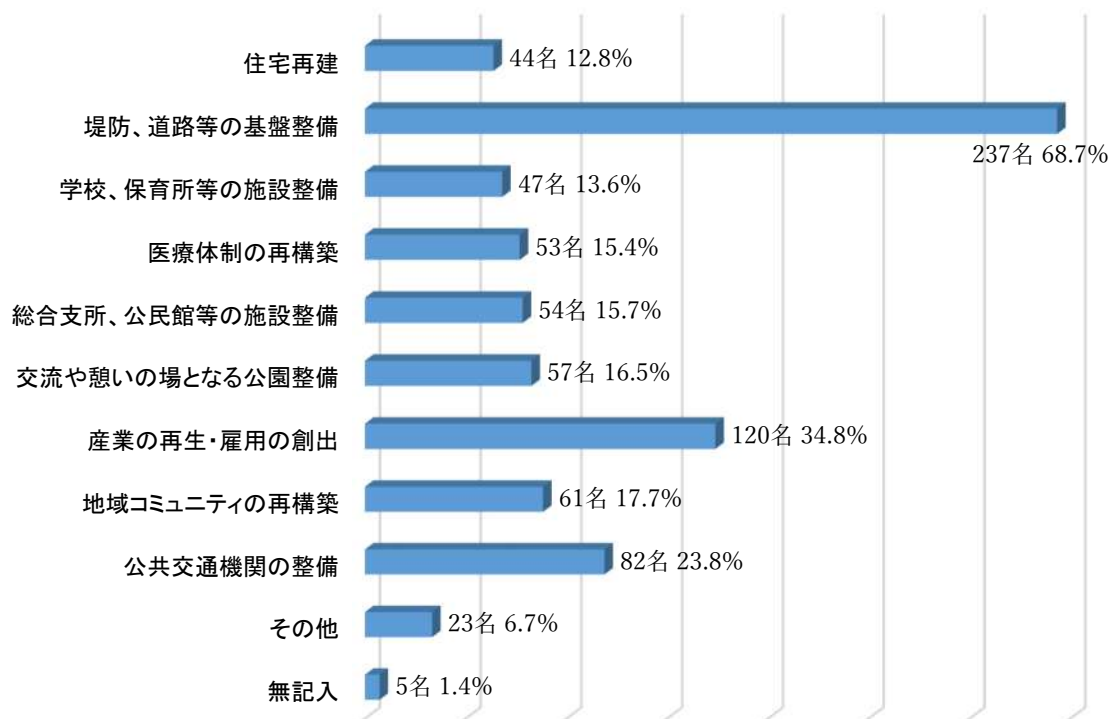
問1 石巻市の復旧・復興が進んでいると感じていますか。1つ選んでください。



問2 問1で「1. はい」と答えた方にお聞きします。
進んでいると感じている主な事業は何ですか。
当てはまるものを全て選んでください。



問3 問1で「2. いいえ」と答えた方にお聞きします。
遅れていると感じている主な事業は何ですか。
当てはまるものを全て選んでください。



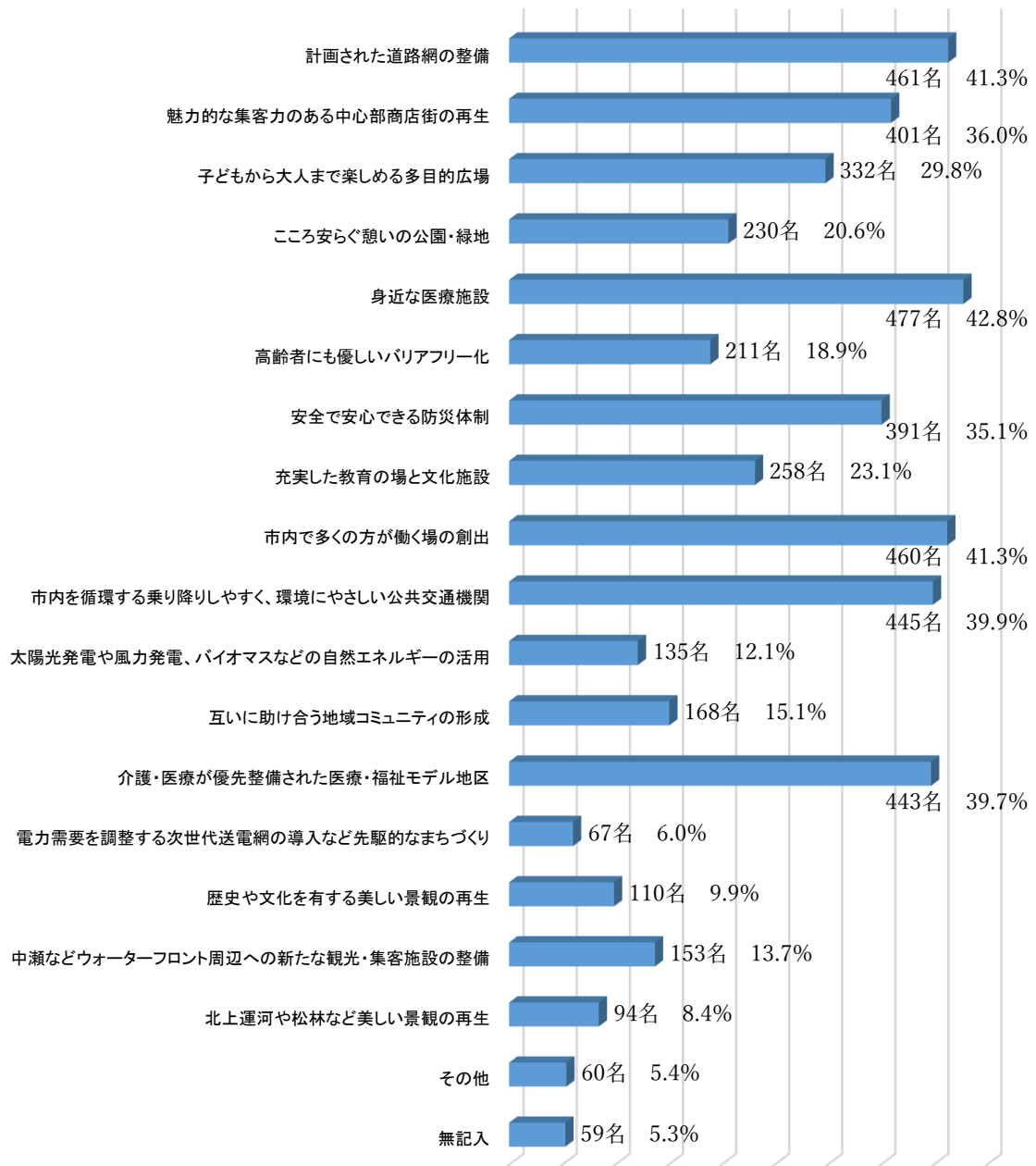
復旧・復興が「進んでいる」と回答した方が、前回調査より0.9ポイント増加し、「進んでいない」と回答した方は、前回調査より1.1ポイント減少しました。

進んでいると感じている主な理由としては「住宅再建」を挙げる方が多く、遅れていると感じている割合も減少していることから、住宅再建の進展を感じている方が多いことがうかがえます。

次に進んでいると感じている事業は「堤防、道路等の基盤整備」となっていますが、遅れていると感じている事業においても高い割合を占めています。「産業の再生・雇用の創出」についても、遅れていると感じている割合が高くなっています。

今後も、基盤整備について、国、県等と調整を図りながら事業の円滑な推進に努め、本市の持続的発展に向けた産業の再生・雇用の創出に一層取り組んでいく必要があると考えます。

問4 石巻市の将来の再生・発展のために望むまちづくりについてお聞きします。
特に重要と思うものを5つ選んでください。



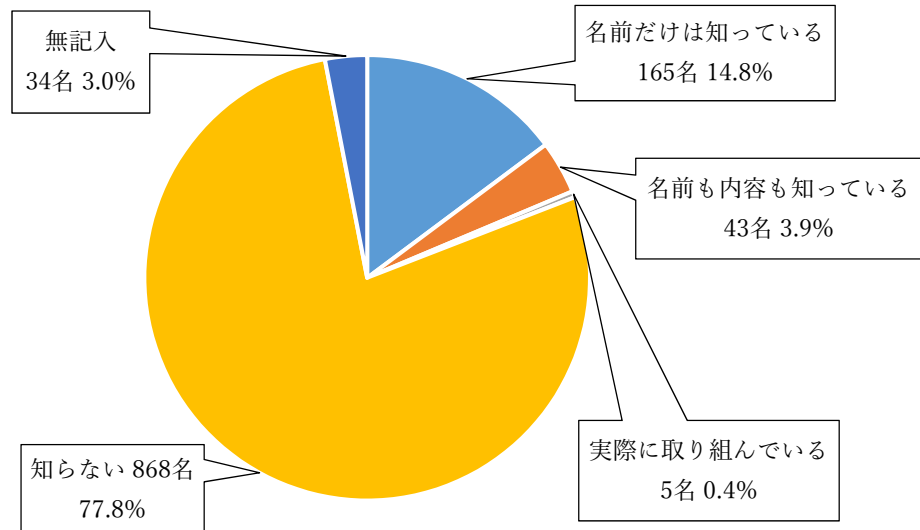
将来の再生・発展のために望むまちづくりについては、「身近な医療施設」「計画された道路網の整備」「市内で多くの方が働く場の創出」「市内を循環する乗り降りしやすく、環境にやさしい公共交通機関」「介護・医療が優先整備された医療・福祉モデル地区」を望む声が多く、今後のまちづくりにおいて、道路・交通・雇用・医療・福祉が重要と考えられていることがうかがえます。

自由記入欄では、高齢者の免許返納後の移動手段の確保など交通に関する要望や、子育て支援の充実を望む声が多くありました。

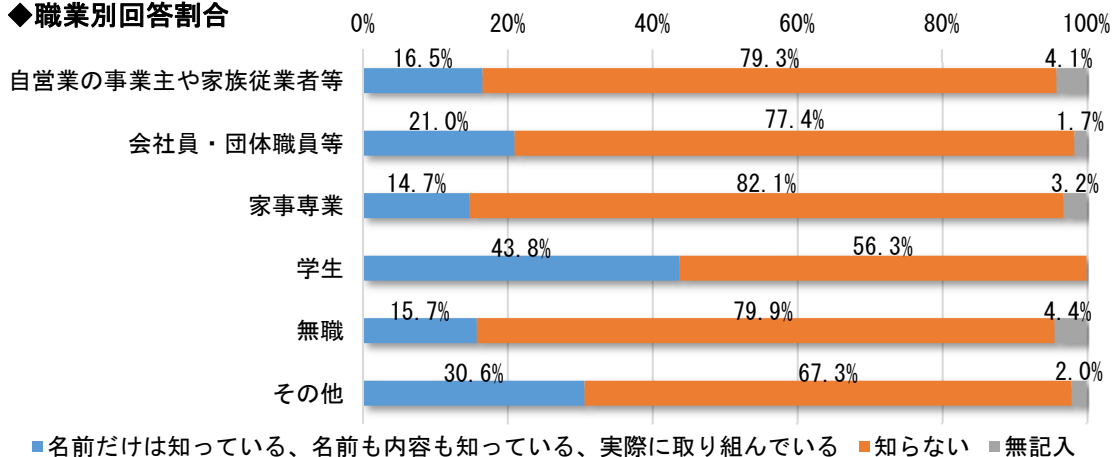
2 エスティー・ジェーエス SDGs（持続可能な開発目標）について

問5 市は、国連で採択されたSDGs（持続可能な開発目標）の取組を始めました。「SDGs」という言葉を知っていますか。1つ選んでください。

◆ 総計



◆ 職業別回答割合



SDGsという言葉を知っているが最も多く、77.8%を占めました。続いて「名前だけは知っている」が14.8%、「名前も内容も知っている」が3.9%となっており、「実際に取り組んでいる」は0.4%という結果でした。

職業別の回答割合については、「名前だけは知っている」「名前も内容も知っている」「実際に取り組んでいる」の合計と「知らない」を比較すると、「学生」は43.8%と認知度が最も高く、一方、「家事専業」は14.7%と低い状況でした。また、「会社員等（21.0%）」よりも「自営業等（16.5%）」が認知度が低いことが分かりました。

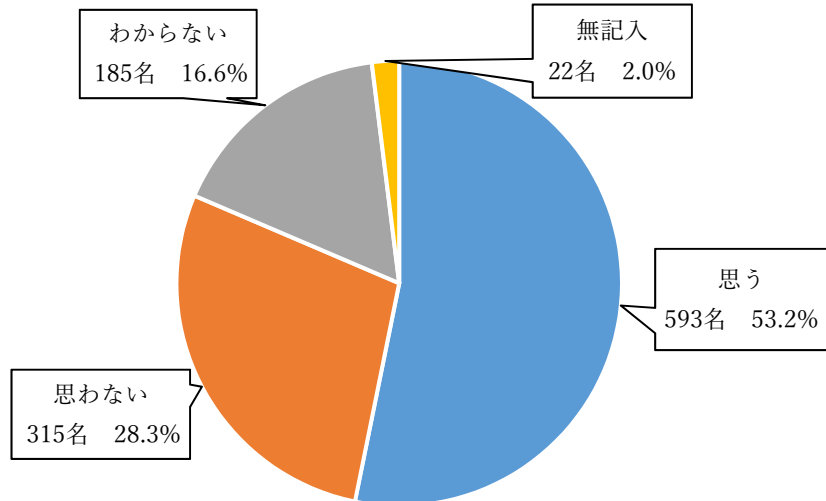
SDGsの達成に向けた取組は地方創生の実現に資するものであり、行政、民間事業者、市民等、様々な立場の方々が、SDGsという世界共通のものさしを活用し連携して取り組んでいくことで、本市における地域課題の解決を一層促進することが可能となります。

今後、企業等による組織的な取組の推進を図ると共に、市民一人一人がSDGsを意識し、持続可能な地域社会の実現を目指していくために、SDGsの普及啓発を積極的に行っていく必要があることが分かりました。

3 石巻市の環境について

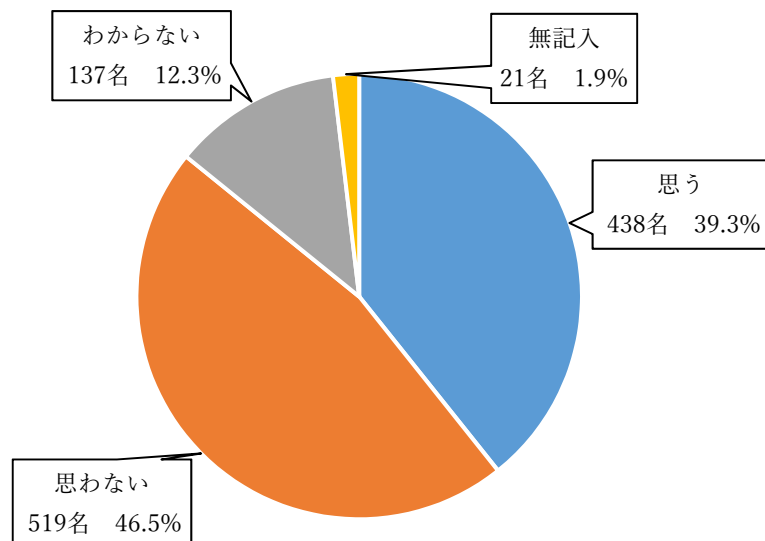
[自分が住んでいる地域の環境について]

問6 多くの自然や生物に恵まれていると思いますか。1つ選んでください。



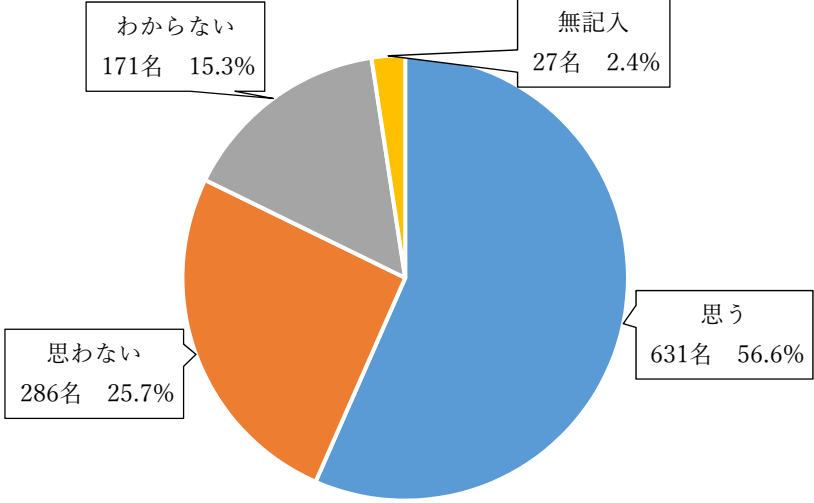
自分の住んでいる地域の環境について、多くの自然や生物に恵まれていると思う市民が多い結果となりました。豊かな自然を将来世代に引き継いでいくため、人の暮らしと自然が調和する地域づくりに取り組んでいく必要があります。

問7 公園や道路、宅地などの緑が豊かだと思いますか。1つ選んでください。



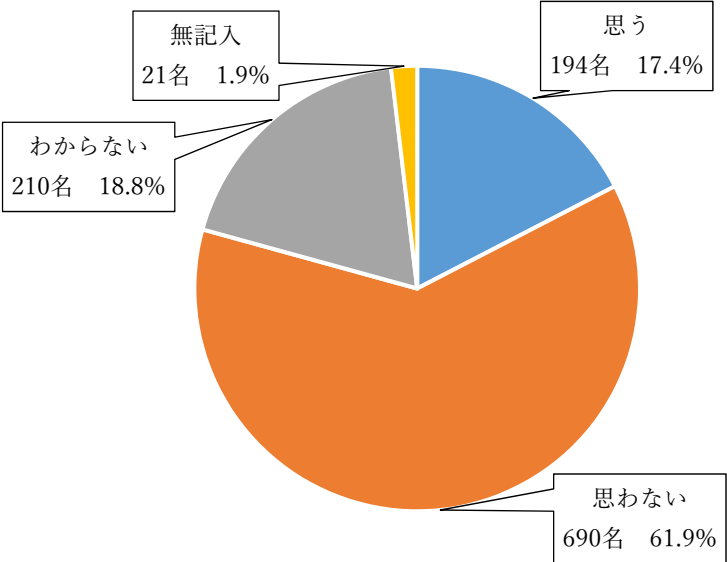
公園や道路、宅地などの緑が豊かだと思わない市民が半数近くとなりました。宅地開発や道路整備を進める際には緑化に配慮をしながら実施することが求められます。また、公園・緑地の整備を進め、身近に緑とふれあえる環境を創出していく必要があります。

問8 田や畑の農地の緑が豊かだと思えますか。1つ選んでください。



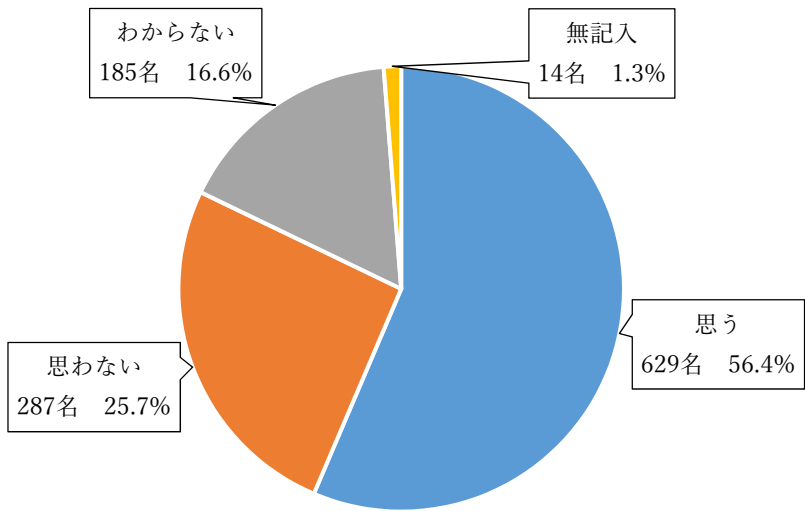
田や畑の農地の緑が豊かだと思っている市民が多い結果となりました。
今後も地域らしさを活かした景観づくりに取り組んでいく必要があります。

問9 街並みの美しいところだと思えますか。1つ選んでください。



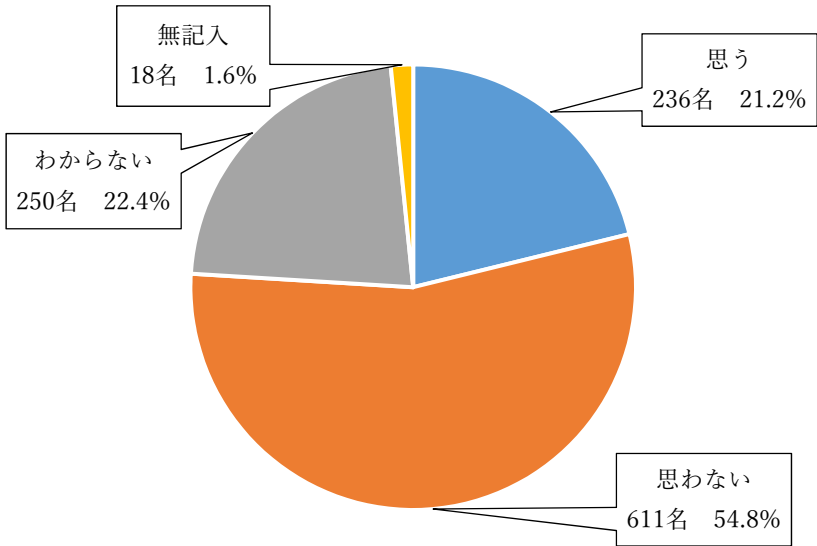
街並みの美しいところだと思わない市民が多い結果となりました。
魅力あるまちづくりに向けて、自然や文化、歴史など地域特性を活かした景観の形成を推進していく必要があります。

問 10 空気がきれいだと思いますか。1つ選んでください。



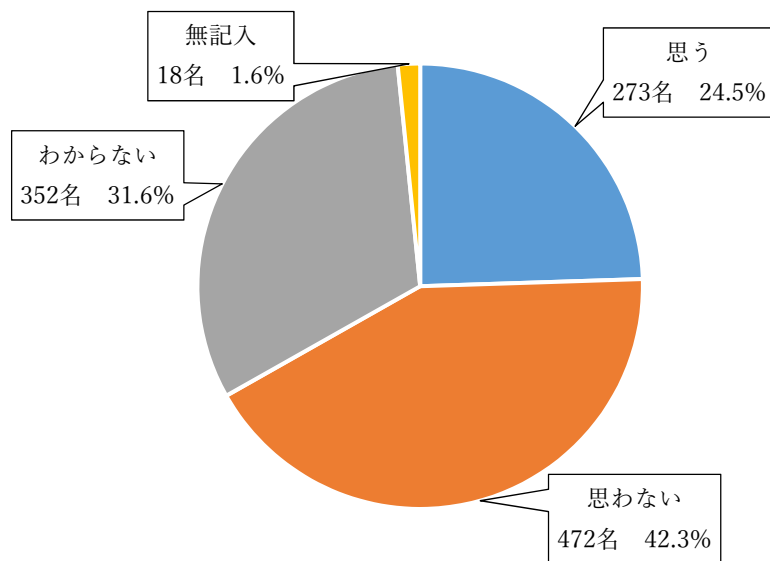
空気がきれいだと思っている市民が多い結果となりました。
大気汚染を防止するために、大気環境の監視を行い、自動車や工場、事業場などの発生源への指導に取り組むとともに、大気環境保全に関する普及・啓発を推進する必要があります。

問 11 河川の水がきれいだと思いますか。1つ選んでください。



河川の水がきれいだと思わない市民が多い結果となりました。
河川の汚濁を防止するために、水環境の監視を行うとともに、水質汚濁や流入するごみ、生活系・産業系排水への対策、水質浄化に取り組んでいく必要があります。

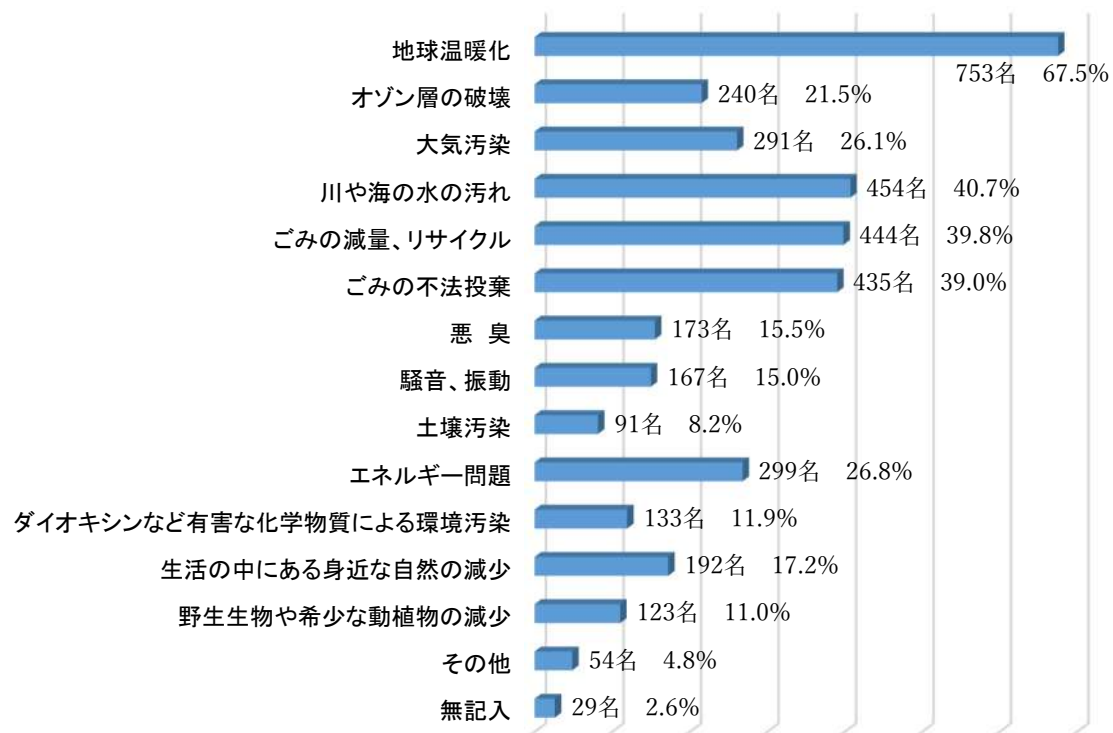
問 12 海の水がきれいだと思いますか。1つ選んでください。



海の水がきれいだと思わない市民が多い結果となりました。
海の汚濁を防止するために、水環境の監視を行うとともに、水質汚濁や流入するごみ、生活系・産業系排水への対策、水質浄化に取り組んでいく必要があります。

[関心のある環境問題について]

問 13 あなたが関心のある環境問題を選んでください。(複数回答可)



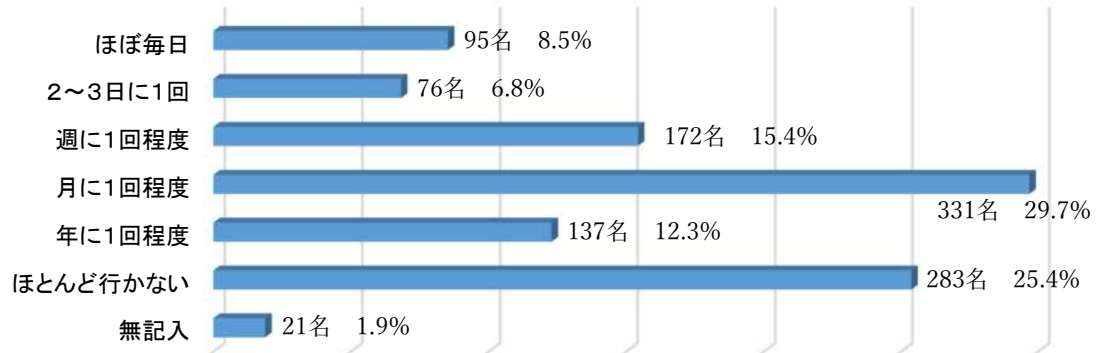
環境問題について、幅広く関心をもたれていることが分かりますが、特に地球温暖化や川や海の水の汚れ、ごみの問題に関心を持っている市民が多い結果となりました。

身近な環境問題への対策に関しては、市・市民・事業者がそれぞれの役割を理解し、積極的かつ主体的に行動していくことが求められます。

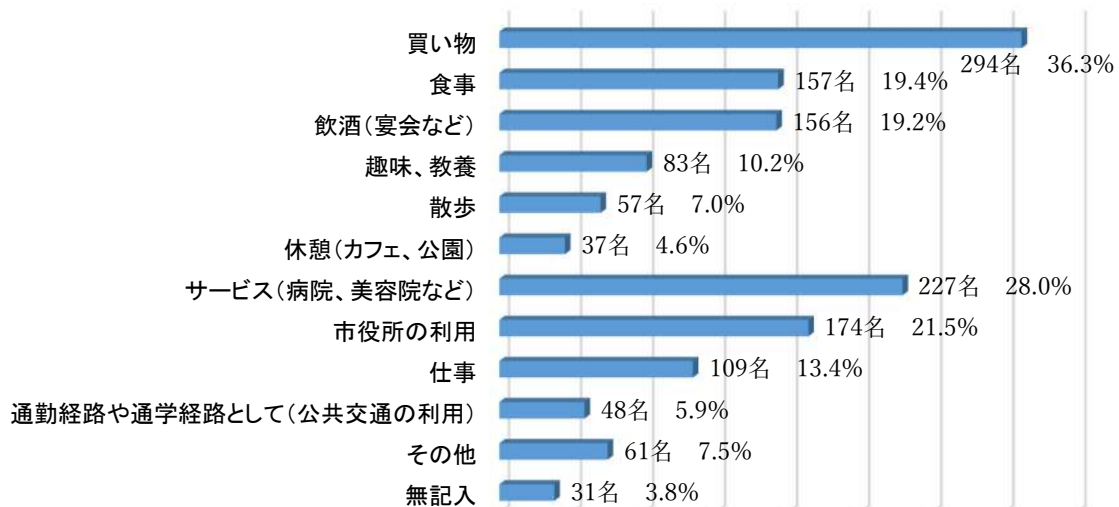
4 石巻市中心市街地活性化について

I 中心市街地の利用状況等について

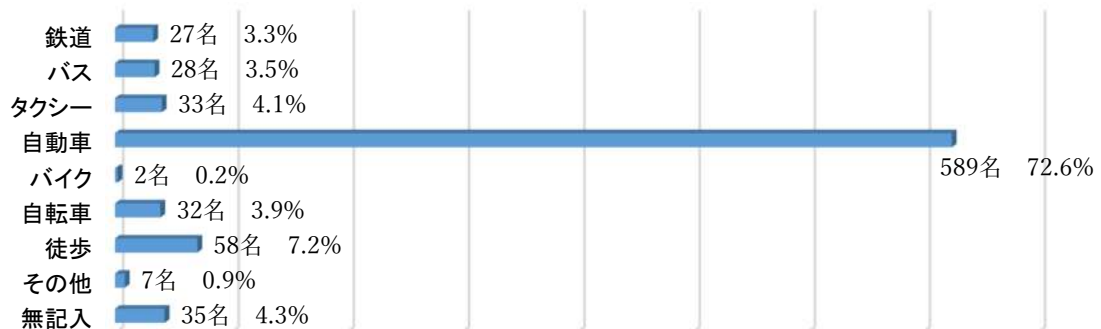
問 14 石巻市中心市街地へ出かける（利用する）頻度はどれくらいですか。
（〇は1つだけ）



問 15 どんな目的で石巻市中心市街地に出かけますか（利用しますか）。
（〇は3つまで）



問 16 主にどのような交通手段で訪れていますか。（〇は1つだけ）

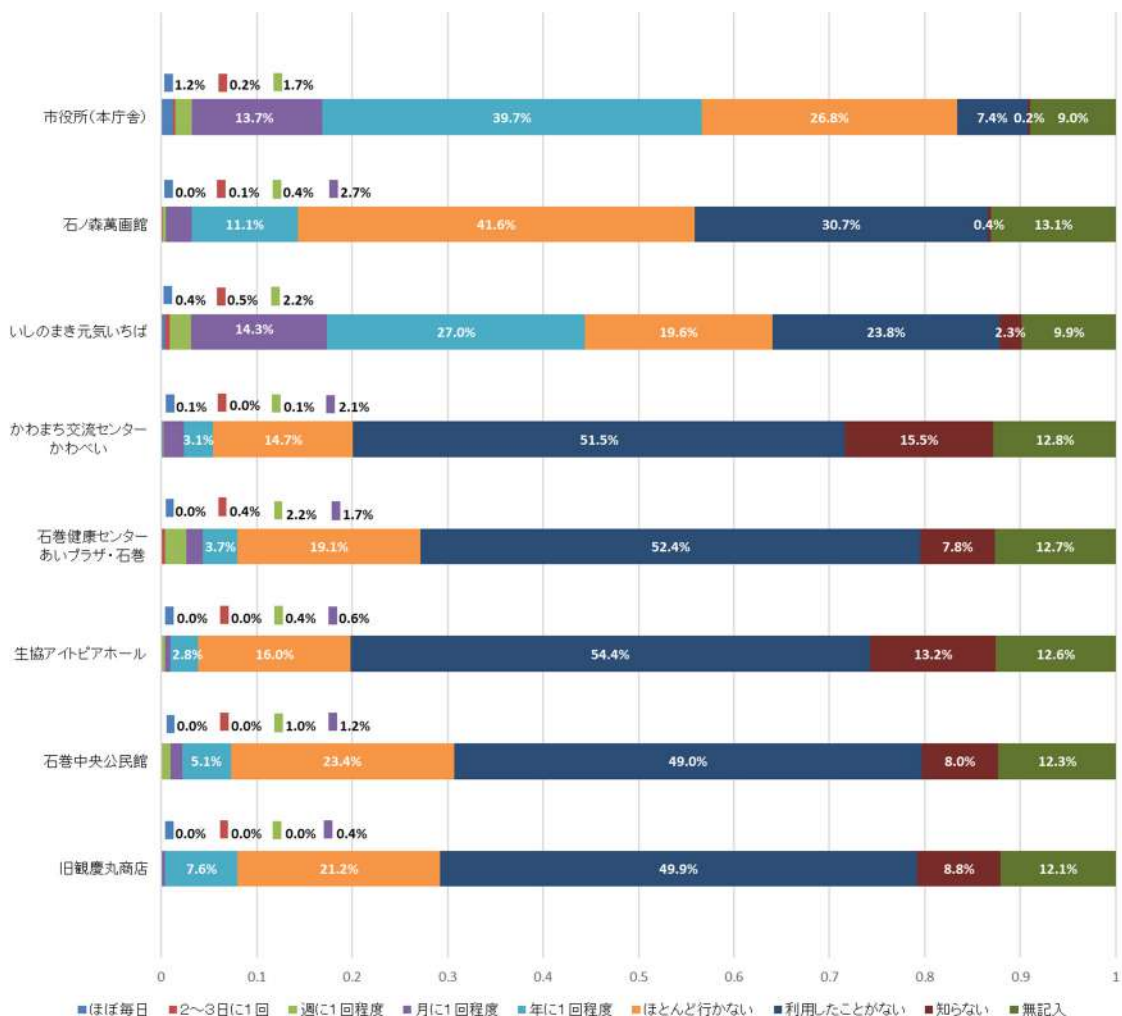


中心市街地へ出かける（利用する）頻度は、「月に1回程度」が29.7%で最も多く、次いで「ほとんど行かない」が25.4%となっています。前回調査（平成21年度）では「ほとんど行かない」が42.6%で最も多く、次いで「月1～2回」が26.3%でした。一見すると中心市街地の利用率が大幅に上昇しているように見えますが、前回調査で「ほとんど行かない」を選択した方が、今回から新設した「年に1回程度」の選択肢に分散したものと見られ、実際の利用率は微増かほぼ横ばいと思われます。

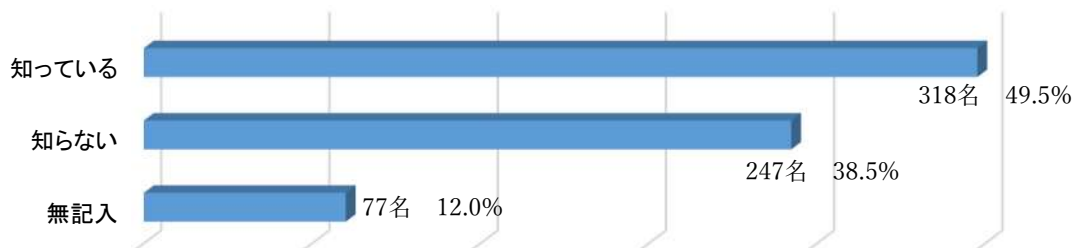
中心市街地に出かける（利用する）目的は、「買い物」が36.3%で最も多く、次いで「サービス（病院・美容院など）」が28.0%、「市役所の利用」が21.5%となっています。

交通手段については、「自動車」が72.6%で突出して多い結果となっています。前回調査でも「自動車」が77.6%となっており、同様の傾向が続いているものと思われますが、「徒歩」が1.5%から7.2%と増加しており、「歩いて暮らせるまちづくり」を目指した施策の効果が表れているものと思われます。

問17 この施設を知っていますか。また、どのくらいの頻度で利用していますか。
 (〇は1施設につき1か所だけ)



問 18 問 17 で、旧観慶丸商店について「知っている」と回答された方に伺います。
「旧観慶丸商店」が文化発信拠点として運営されていることを知っていますか。

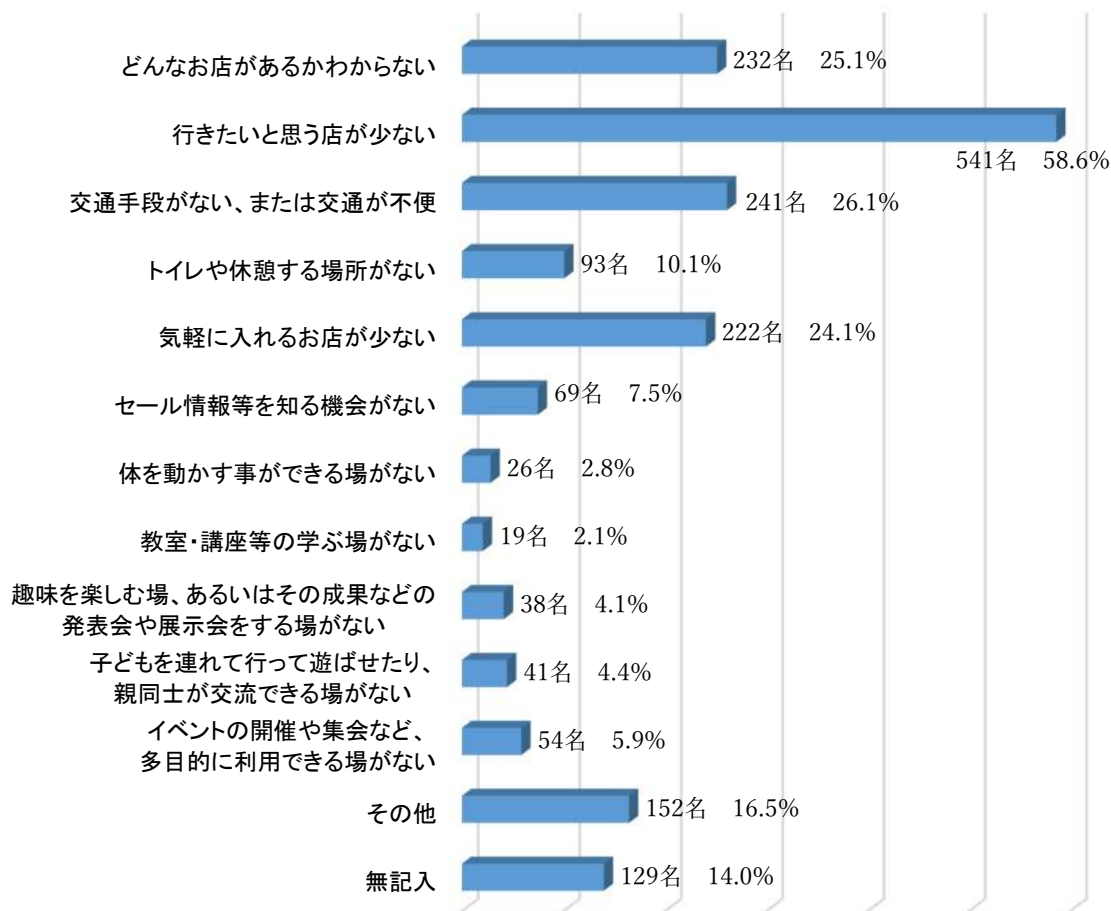


施設の認知度については、“市役所（本庁舎）”と“石ノ森萬画館”では「知らない」と答えた方がほとんどおらず、平成29年度にオープンした“いしのまき元気いちば”についても、ほとんどの方に認識していただいていることが伺えます。一方で、その他の施設は10.0%前後の方が「知らない」と答えており、特に“かわまち交流センターかわべい”では15.5%の方が「知らない」と答えており、平成30年度にオープンしたばかりではありますが、認知度の向上が今後の課題となっています。

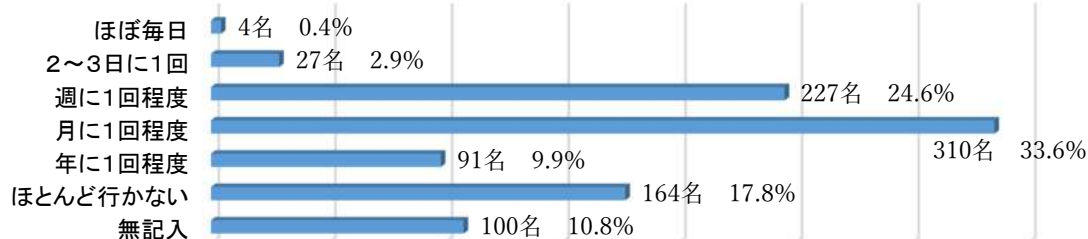
利用の頻度については、“市役所（本庁舎）”と“いしのまき元気いちば”では「年に1回程度」が最も多く、“石ノ森萬画館”では「ほとんど行かない」が最も多く、年に1回以上利用する方は14.3%となっています。その他の施設では年に1回以上利用する方が10.0%を下回っており、利用者増が必要か否かは、施設ごとの利用者の許容量が異なるため一概に言えませんが、施設を利用していない市民が多数いらっしゃる事が伺えます。

なお、“旧観慶丸商店”が今年度から文化発信拠点として運営されていることを知っている方は、施設自体を知っている方のうち49.5%となっています。

問 19 石巻市中心市街地の利用が少ない理由はなんですか。(〇は3つまで)



問 20 あなたは、ほとんど利用しない理由で選んだ項目が、今後解消された場合、どのくらいの頻度で、中心市街地を訪れたいですか。(〇は1つだけ)

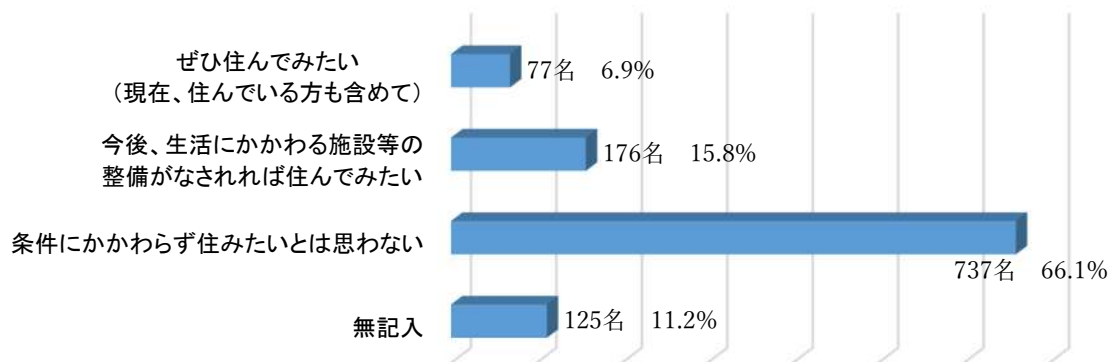


中心市街地の利用が少ない理由は、商店に係る事項が多く(「行きたいと思う店が少ない」58.6%、「どんなお店があるかわからない」25.1%、「気軽に入れるお店が少ない」24.1%)、前回調査と同様の傾向(「郊外大型店で用が足せる」60.7%、「行きたい、買いたいと思う店がない」59.4%、「気軽に飲食を楽しむことのできる場がない」38.1%)となっています。しかし、次に回答の多い「交通手段がない、または交通が不便」は26.1%であり、前回調査(「車を停める場所がない」36.5%、「交通手段がない」6.7%)よりは交通に関する理由は減少しています。また、自由記述では、無料の駐車場が無いという意見が最も多く、次いで、行く目的や理由が無いとの意見を多くいただきました。

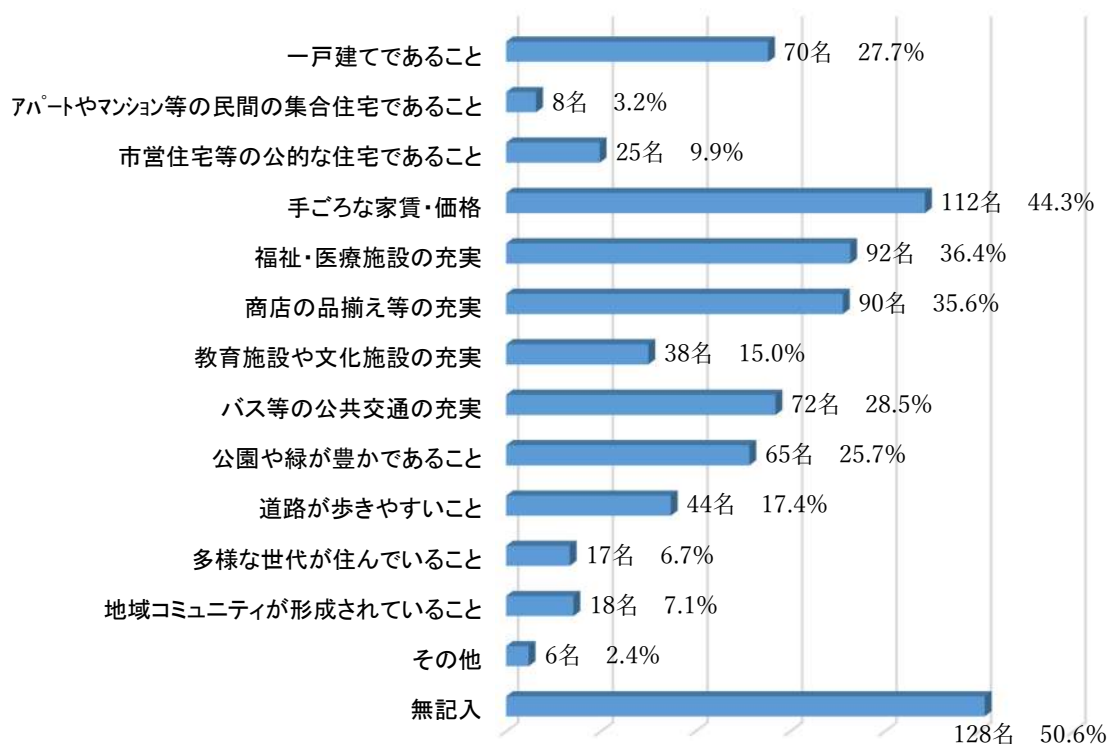
ほとんど利用しない理由が解消された場合の利用頻度については、「月に1回程度」が33.6%で最も多く、次いで「週に1回程度」が24.6%となっており、前回調査とほぼ同様の結果となっています。

II 石巻市中心市街地での居住の意向について

問 21 あなたは、今後中心市街地に住むことについて興味はありますか。
(○は1つだけ)



問 22 中心市街地に居住する際に、何を重要視しますか。(○は3つまで)

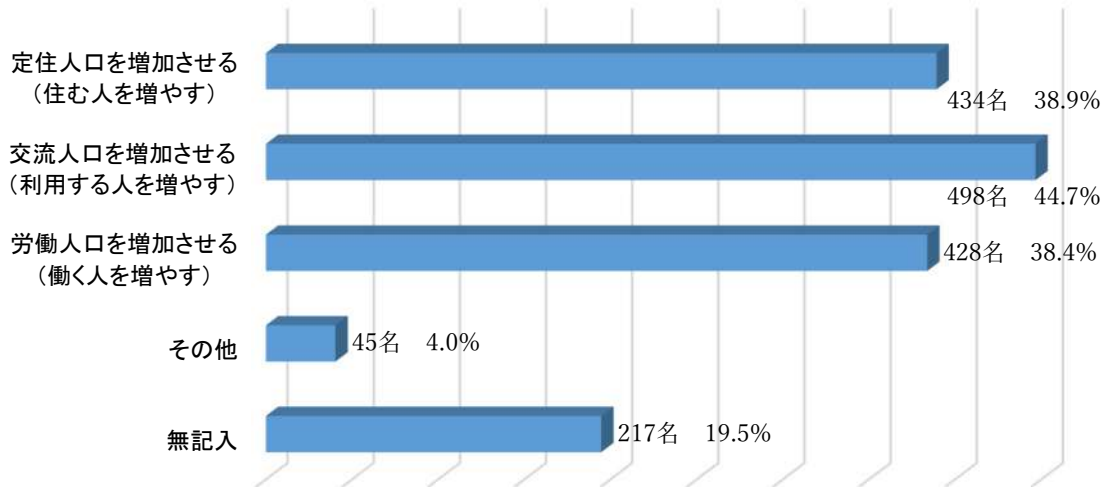


中心市街地に居住することへの興味については、「条件にかかわらず住みたいとは思わない」が66.1%で最も多くなっていますが、前回調査の74.0%より7.9%低下しています。次いで「今後、生活にかかわる施設等の整備がなされれば住んでみたい」が15.8%、「ぜひ住んでみたい（現在、住んでいる方も含めて）」が6.9%で、「住んでみたい」と答えた方の合計は22.7%となっており、前回調査の20.2%より2.5%上昇しています。

中心市街地に居住する際に重要視することは、「手ごろな家賃・価格」が44.3%で最も多く、次いで「福祉・医療施設の充実」が36.4%、「商店の品揃え等の充実」が35.6%となっています。

Ⅲ 今後のまちづくりのあり方について

問 23 今後、石巻市中心市街地のまちづくりの方向として、ふさわしいと思うものはどれですか。(〇は2つまで)



問 24 石巻市中心市街地の街づくりに望むものは何ですか。(自由記述)

【 抜 粋 】

- ・まだまだ交通面で不便だと感じる。電車やバスの時間や止まる所など増やしてほしい。
- ・行ってみたいな、と思うようなお店が入れば足をはこぶと思います。
- ・飲食店(夜)のイメージが付いた。子どもを連れて「行って楽しみたい場所」ではない。市外の人が楽しめる場所になったように感じる。だからそのまま観光地となるような温泉施設(道の駅)のような建物が立てば良いのでは。
- ・若者が好む店も少なく、高校が近くにあるのにその年代や20代の子達が、大型の商業施設に流れ、交通の便も悪いので、いつも昼間は淋しいと思えます。
- ・新しいお店などが出来ても全然わからないので、もう少し宣伝等をした方がいいと思う。
- ・蛇田にイオンがあるので、差別化した何かがあれば人も集まると思う。また、交通の面では、一方通行が多すぎて行きづらいし遠い。
- ・気軽に行ってみたいと思う様な雰囲気が感じられる街づくりにしてほしい。
- ・若い人がどんどん離れていくイメージ。気軽に飲みに行けるように、蛇田やあけぼのから夜もバスを出していただけると、中心市街地に行く意欲が湧く。車で行って、代料を出してまで行こうとは思わない。
- ・自然が豊かで、子供達が安心して、遊べる公園等。
- ・治安的な意味で、商店街の雰囲気がよくないと思う。
- ・高校生が利用できるような勉強場所のような所を駅周辺にあったらいいと思う。
- ・娯楽場を充実させて、市街地へ行きたいもしくは他にはないから行かないと思わせる施設を作してほしい。
- ・中瀬をもう少し「観光して楽しい場所」にしてほしい。
- ・無料(もしくは安い)駐車場を増やしてほしい。入りやすいカフェやお休み処がほしい。
- ・緑豊かな街、福祉、医療施設の充実 ショッピングができる街、交通手段の便利な街。

- ・ショッピングモールや大型店には無いような人が見える小さな店がたくさんできてほしい。
「街ブラ」ができるエリア。単館系の映画館ができたらうれしい。
- ・図書館をもっと便利な所に移してほしい。
- ・自然（海、川、山）と共存する公園都市となってほしい。
- ・子供支援センターのような物が欲しい。

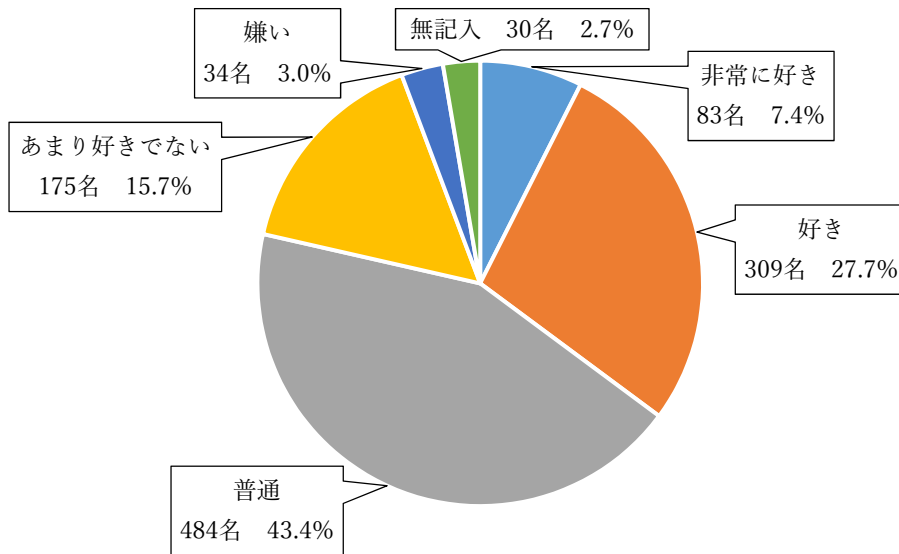
※上記以外のご意見は、第5章 資料編の62ページから69ページに記載しております。

中心市街地のまちづくりの方向としてふさわしいものについては、「交流人口を増加させる（利用する人を増やす）」が44.7%で最も多く、次いで「定住人口を増やす」と「労働人口を増やす」の2点が38.0%程度となっています。

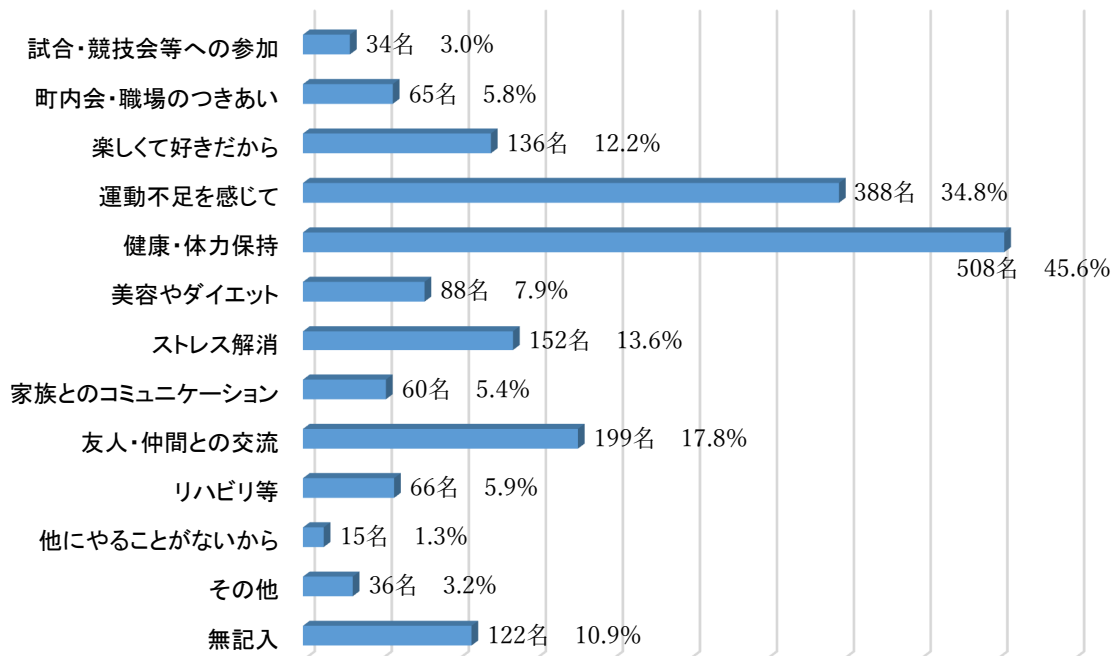
また、問24の「中心市街地の街づくりに望むもの」の自由記述では、一方通行の解消や無料駐車場の設置、バスの増便など交通利便性に係る意見が最も多く、若者が利用する施設や環境の整備、スーパー等の買い物利便性の向上、商店やイベントの情報発信、蛇田エリアとの差別化（中心市街地を移すことの検討）、自然を生かしたまちづくり、治安の改善などについて多くのご意見をいただきました。

5 運動・スポーツについて

問 25 運動やスポーツは好きですか。1つ選んでください。



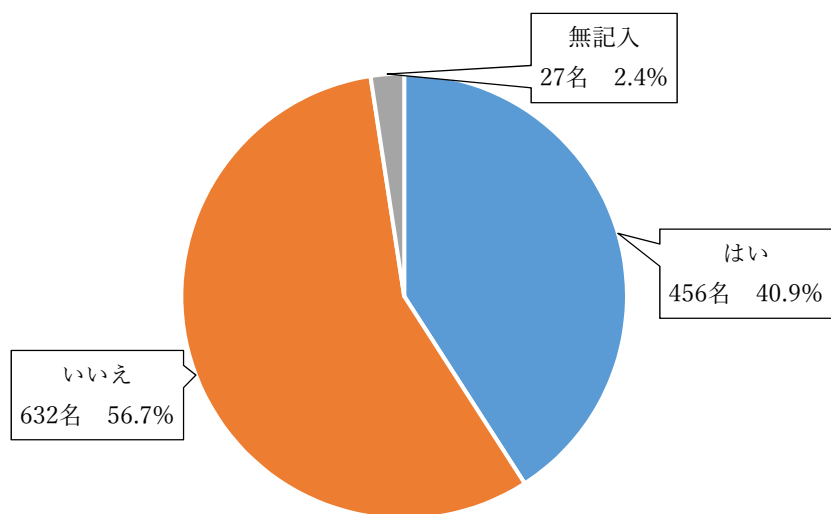
問 26 運動やスポーツをする理由はなんですか。特に当てはまるものを2つ選んでください。



スポーツが好きかという質問に対して、「普通」と答えた人が43%と約半数を占めており、スポーツに対する印象はフラットなものであることが推察できます。

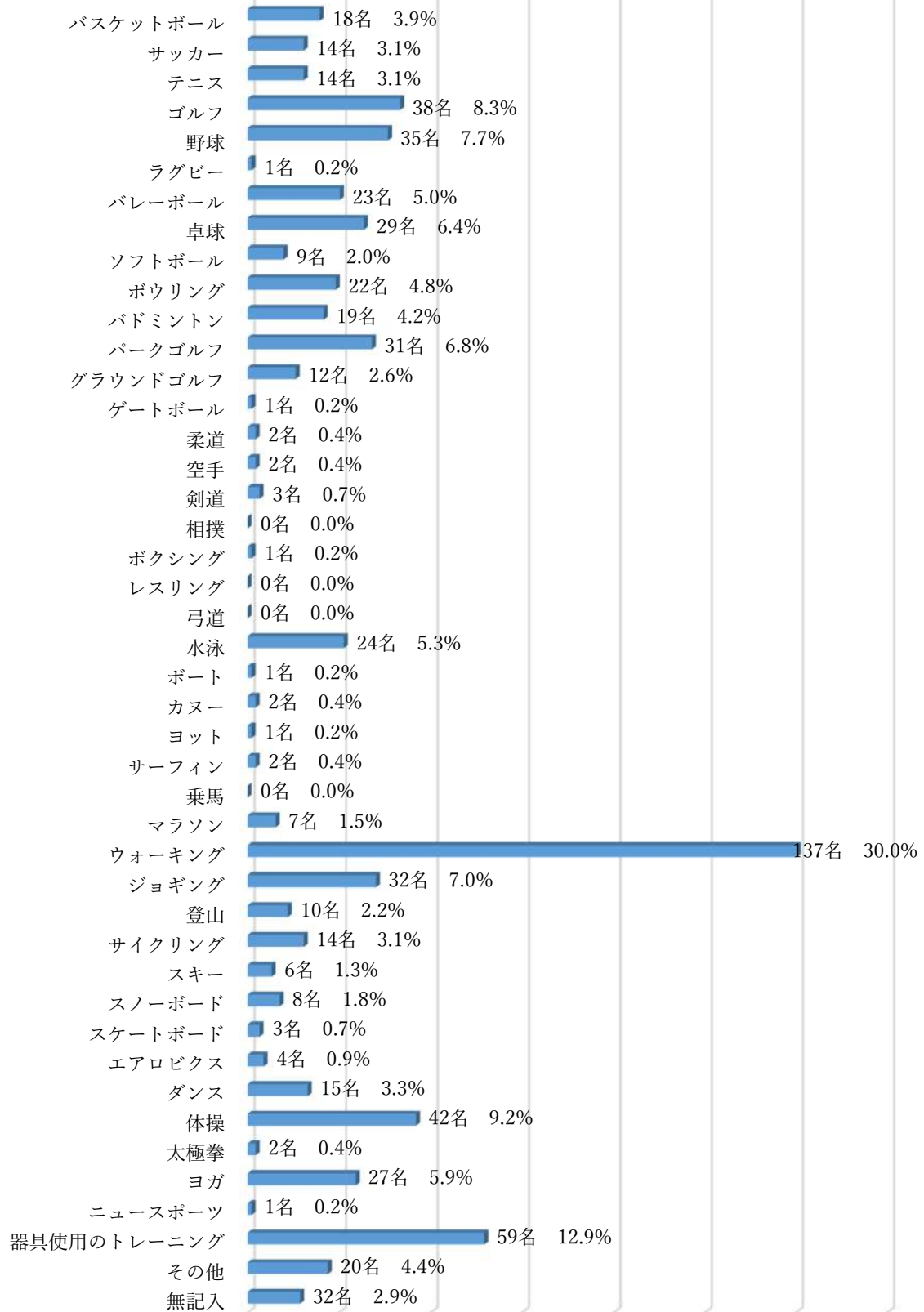
運動・スポーツをする理由として、運動不足解消や健康・体力保持のためという回答が非常に多く、スポーツそのものを楽しむというよりは実益を重視する人が多いようです。

問 27 この一年間に何らかのスポーツを行いましたか。



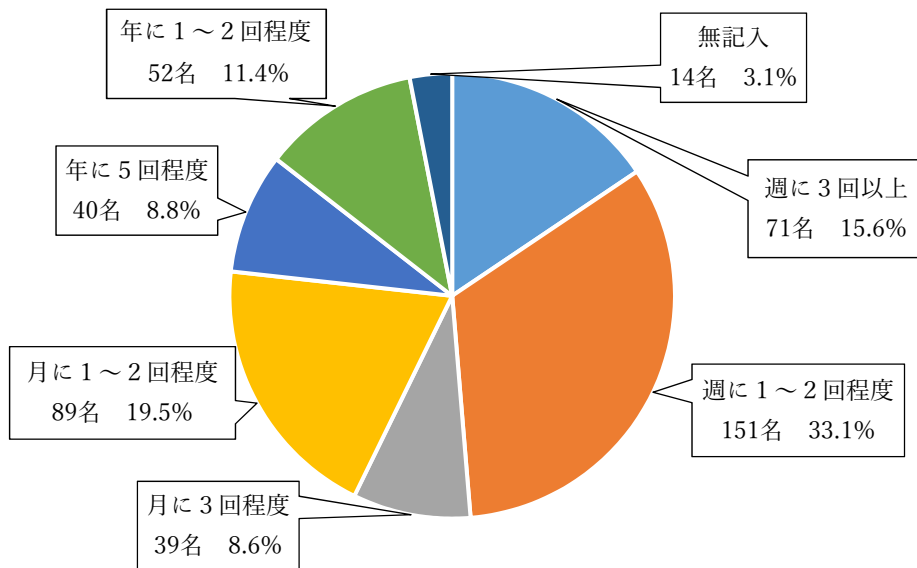
直近1年間でのスポーツ経験について、「ない」と答えた人が57%と過半数であり、問25でスポーツに対して「普通」と答えた人も、運動する機会に恵まれていないことがわかります。

問 28 この一年間で行ったスポーツは何ですか。
特に当てはまるものを2つ選んでください。

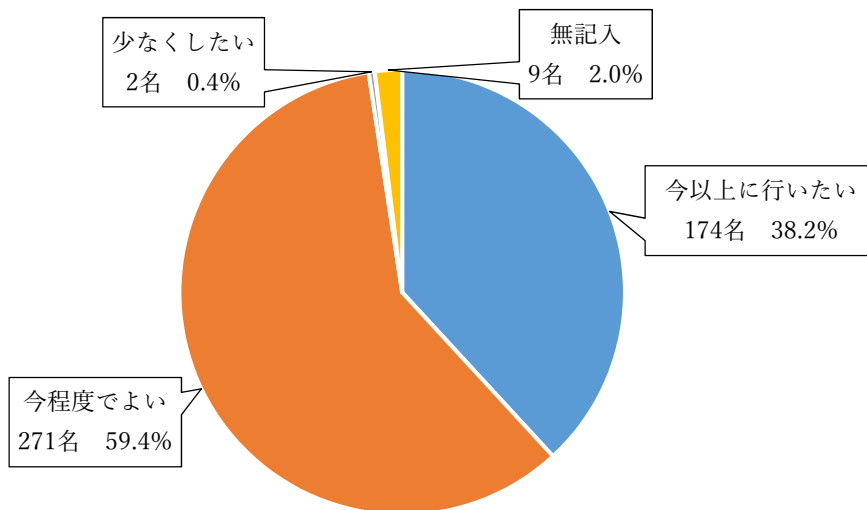


スポーツの種類として、ウォーキングの人数が突出しており、理由としては特別な道具が必要なく、一人でも行える手軽さや、問 26 の回答傾向から分かる健康志向にもマッチしていることなどが考えられます。

問 29 問 28 のスポーツはどれくらいの回数で行いましたか。1つ選んでください。



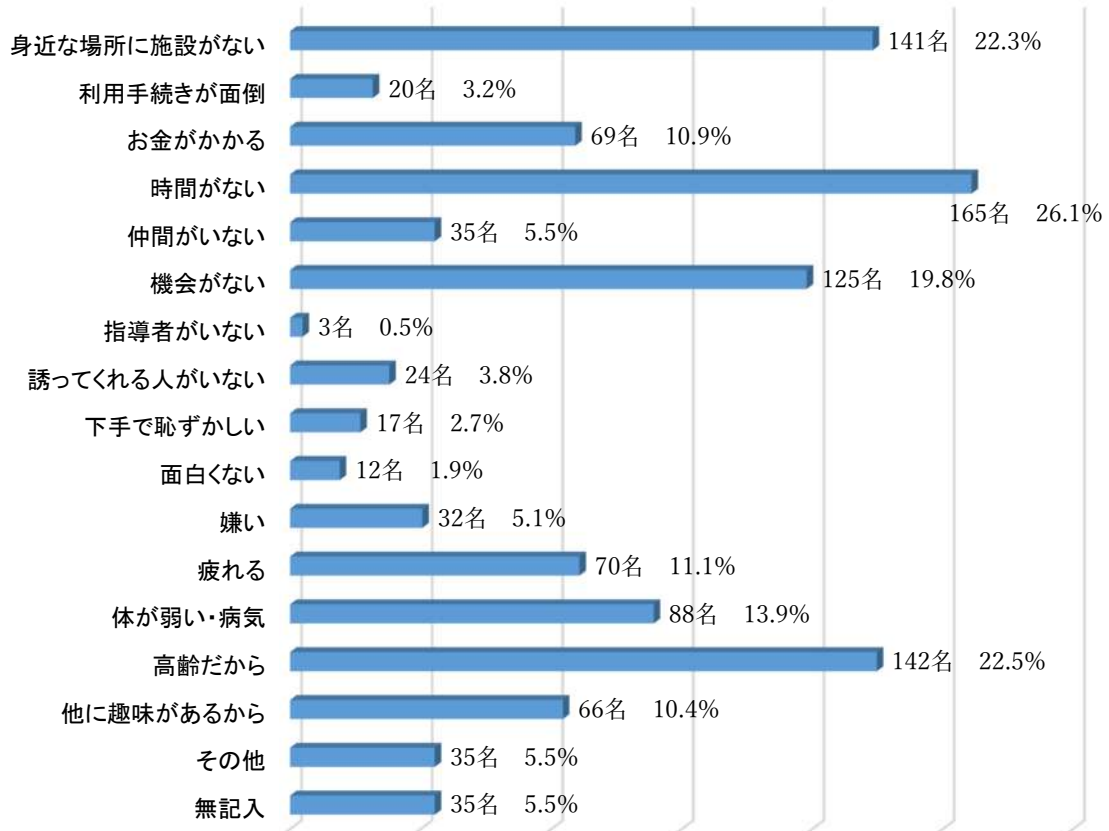
問 30 今後スポーツをどの程度行いたいですか。1つ選んでください。



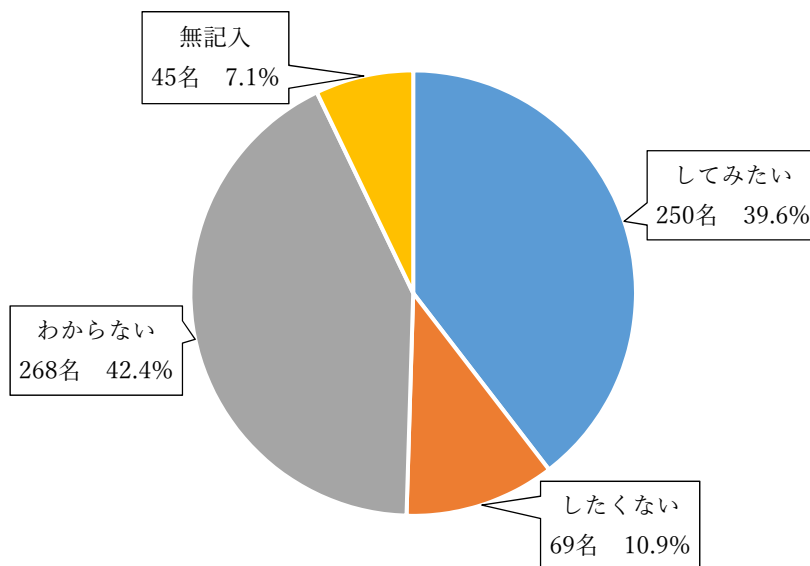
最近1年でのスポーツ経験がある人の中では、週1回以上の頻度でスポーツを行う人が約半数を占めており、問 27 の回答と比較するとスポーツを行う機会について同じ市民でも大きく格差があることが伺えます。

行いたいスポーツの頻度について、「今以上に行いたい」「今程度でよい」と答えた人が95%以上であり、現在スポーツを行っている人についてはモチベーションが高いことが伺えます。

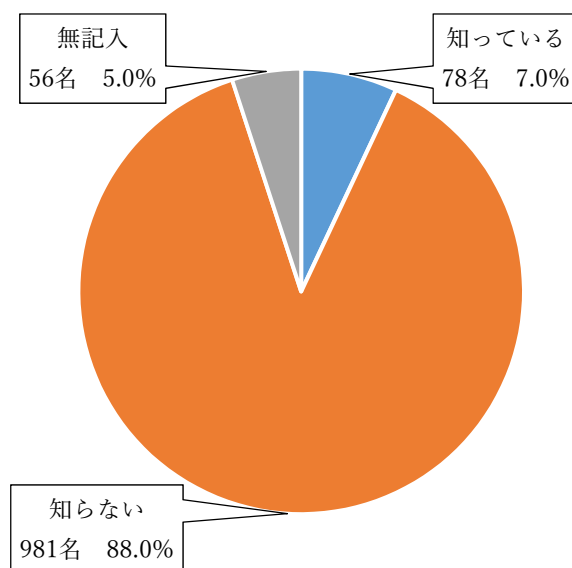
問 31 問 27 で「2. いいえ」と回答した方にお聞きします。
 スポーツを行わなかった理由はなんですか。特に当てはまるものを
 2つ選んでください



問 32 問 27 で「2. いいえ」と回答した方にお聞きします。
 条件が整えば今後スポーツをしてみたいですか。1つ選んでください。



問 33 『スポーツで心と体を健康に～スポーツのまち石巻～』を基本理念として平成29年度に策定した「石巻市スポーツ推進計画」を知っていますか。



スポーツを行わない理由について一番多かったのは「時間がないから」、次いで「高齢だから」となっており、やりたくてもできない人が多いことが伺えます。また、「身近な場所に施設がない」「機会がない」と答えた人も多く、スポーツのきっかけが少ないことも伺えます。

スポーツをしてみたいかどうかについて、明確に「したくない」と答えている人は11%と少ないことから、潜在的なスポーツ人口は多いことが推察できます。

石巻市スポーツ推進計画について、認知度は7%と非常に低く、周知の方法について改めて考える必要があります。

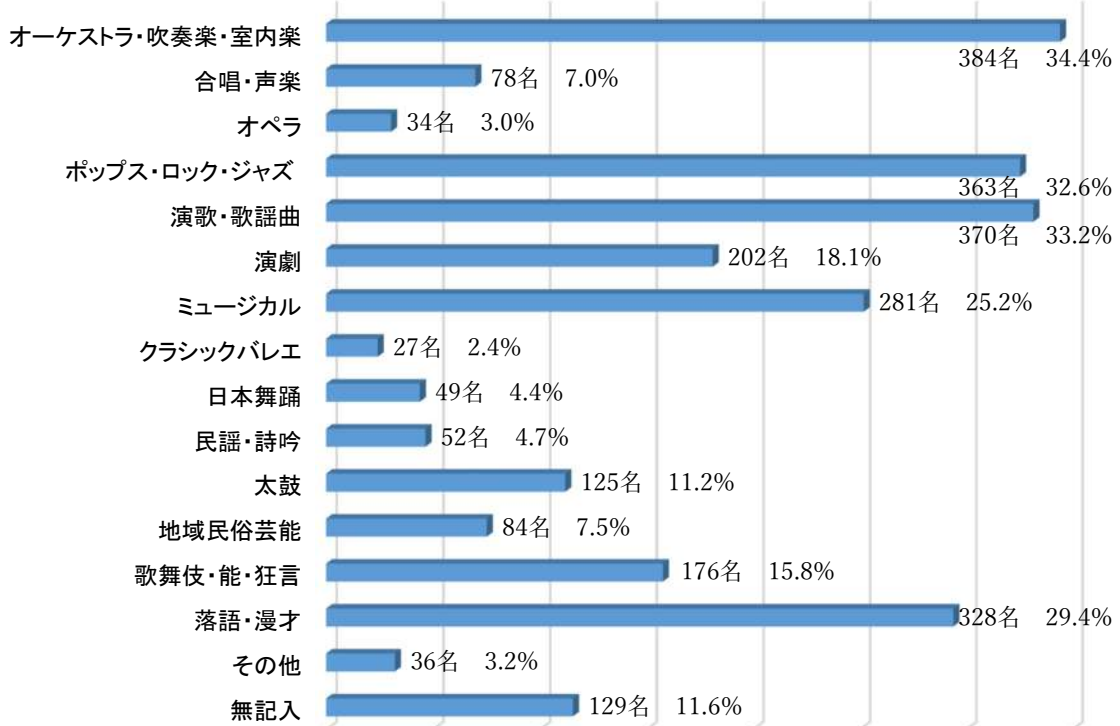
6 (仮称)石巻市複合文化施設で開催する事業について

問 34 施設の開設後、複合文化施設で開催する芸術文化事業として期待することは何ですか。当てはまるものをすべて選んでください。



「著名なアーティストによる公演の充実」(61.4%)と回答した方が1番多く、次いで「子ども向け公演の充実」(31.7%)となっており、このことは千人を超える規模の客席数となる大ホールへの期待が大きいことがうかがえます。次いで回答が多かった「ワークショップ等、講座の充実」(27.4%)については、創作室や研修室等といったホール以外の施設での事業に期待していることがうかがえます。また、「ボランティアスタッフ等、イベントの運営に参加する機会の充実」(15.9%)、「市内在住・出身アーティストの紹介」(15.5%)、「プロのアーティストと共演する機会の充実」(15.2%)といった回答もありますので、これらについても検討していく必要があると考えられます。

問 35 複合文化施設のホール（大ホール1，254席、小ホール300席）では、どのようなジャンルの催し物を観たい・聴きたいですか。特に当てはまるものを3つ選んでください。

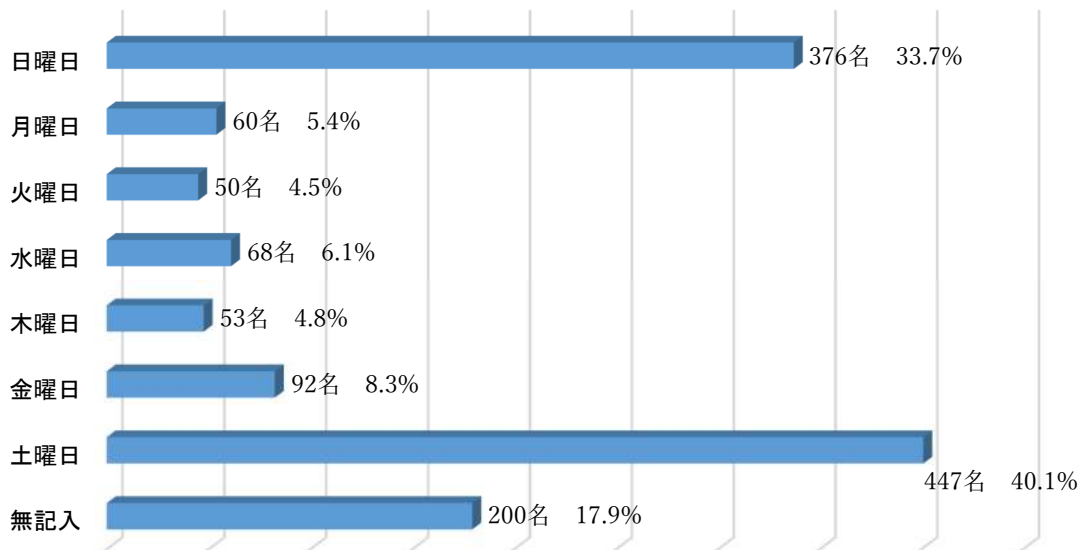


「オーケストラ・吹奏楽・室内楽」(34.4%)と回答した方がもっとも多く、これは市内の中学校、高校の吹奏楽部等、管楽器を主体としたアマチュアの演奏活動が盛んな地域であることが要因であるとうかがえます。次いで「演歌・歌謡曲」(33.2%)、「ポップス・ロック・ジャズ」(32.6%)といったポピュラー音楽への回答が多くなっています。次いで寄席・演芸部門である「落語・漫才」(29.4%)、舞台公演の「ミュージカル」(25.2%)、「演劇」(18.1%)となっており、ここまではニーズが高く観客数が見込めるものとうかがえます。

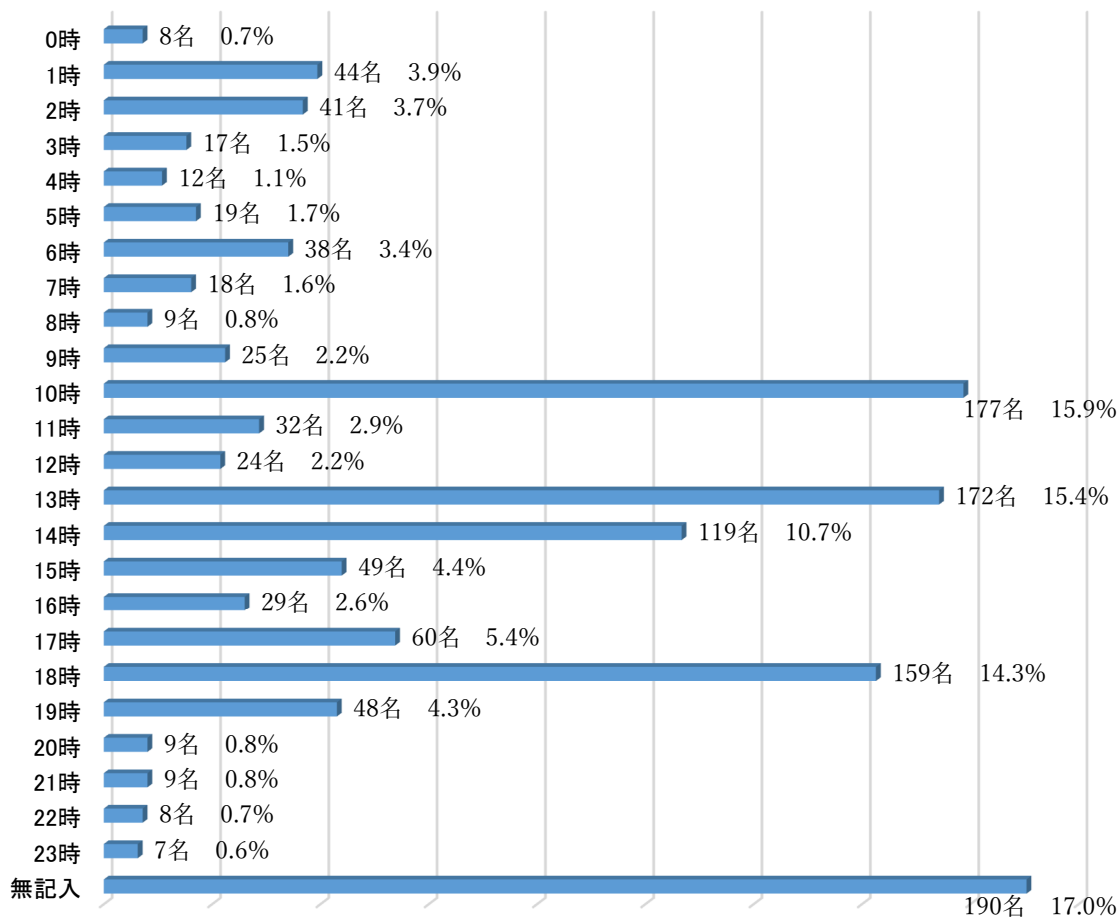
しかし、ニーズが高いとはいえない、「歌舞伎・能・狂言」(15.8%)、「太鼓」(11.2%)等についても興味を持ってもらえるよう、周知していく必要があると考えられます。

問 36 問 35 の催し物を複合文化施設で開催するとした場合、「何曜日」、「何時から」、「何時間程度」であれば、来場してみたいですか。

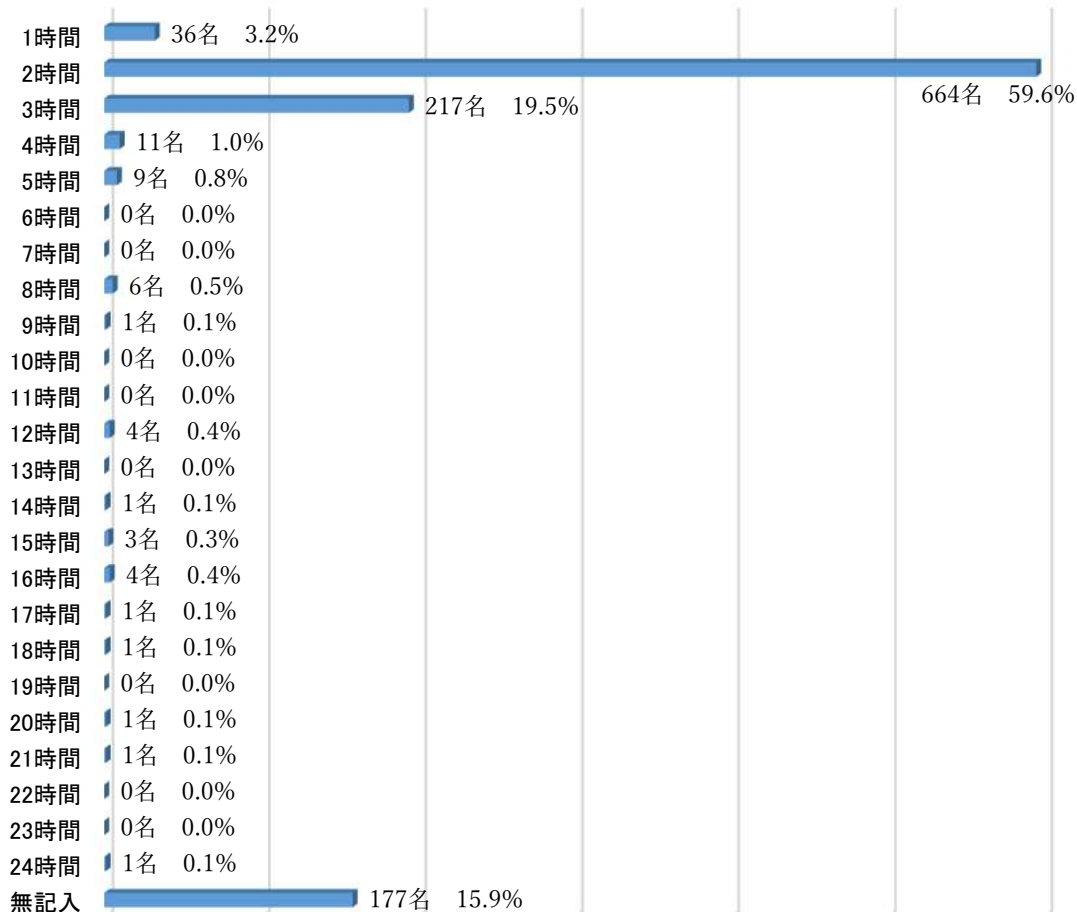
「何曜日」



「何時から」



「何時間程度」



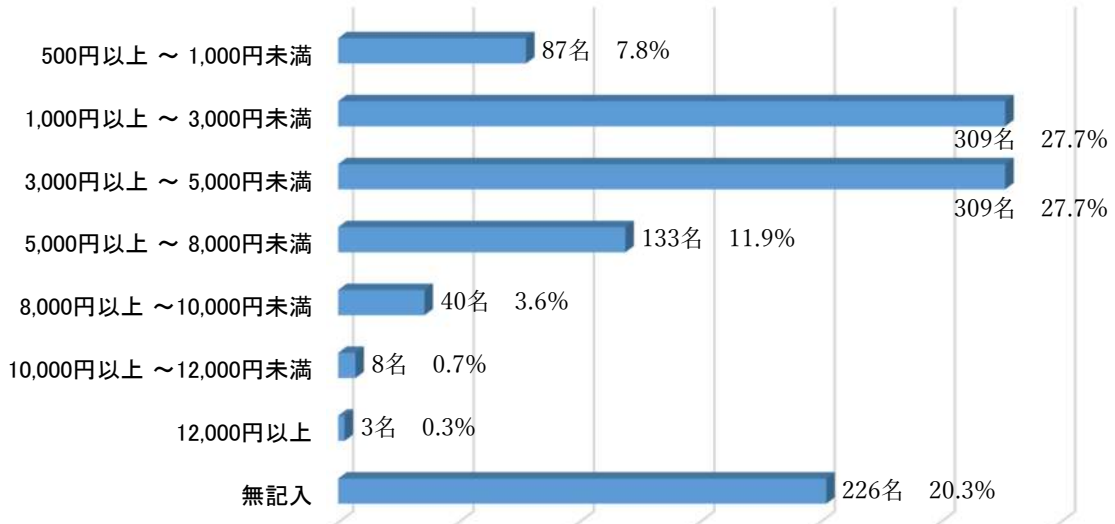
来場してみたい曜日については、「土曜日」（40.1%）と回答した方がもっとも多く、次いで「日曜日」（33.7%）と、この2つの曜日に集中していることがうかがえます。次いで「金曜日」（8.3%）以下ひと桁台の割合となっており、いかに平日の開催日に来場者を取り込めるかを検討する必要があります。

開始時間については、午前の「10時」（15.9%）がもっとも多く、次いで午後の時間帯の「13時」（15.4%）、「18時」（14.3%）、「14時」（10.7%）と区切りの良い時間帯を希望する声が多いことがうかがえます。その他の時間帯については、ひと桁以下の割合となっており、催し物を開催する時間帯としては難しいように考えられます。

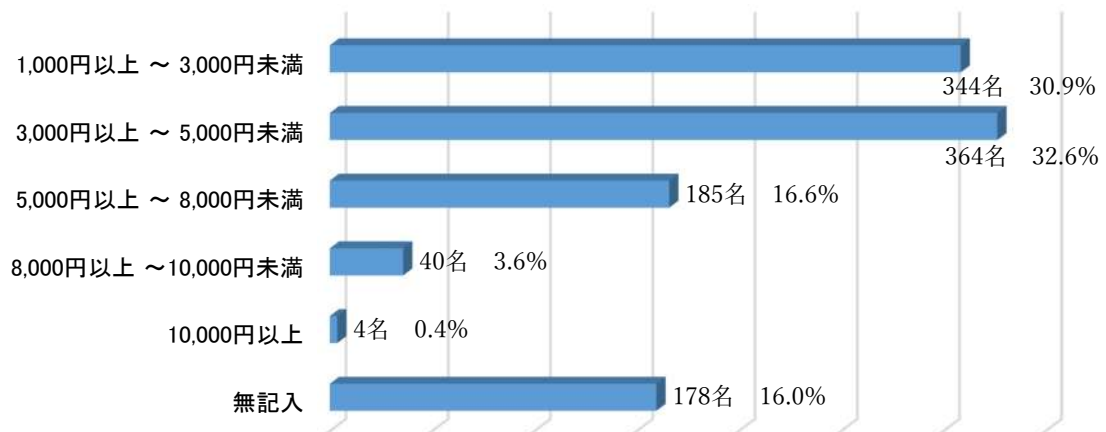
また、何時間程度が良いかという質問に対して「2時間」（59.6%）と答えた方がもっとも多く、この程度の時間が一番妥当と考えられていることがうかがえます。次いで「3時間」（19.5%）、「1時間」（3.2%）、その他の時間が1%以下となっており、程良い時間設定が必要だと考えられます。

問 37 複合文化施設で開催される催し物について、いくらぐらいの料金であればチケットを購入してみたいと思いますか。
それぞれのジャンルごとに当てはまるもの1つを選んでください。

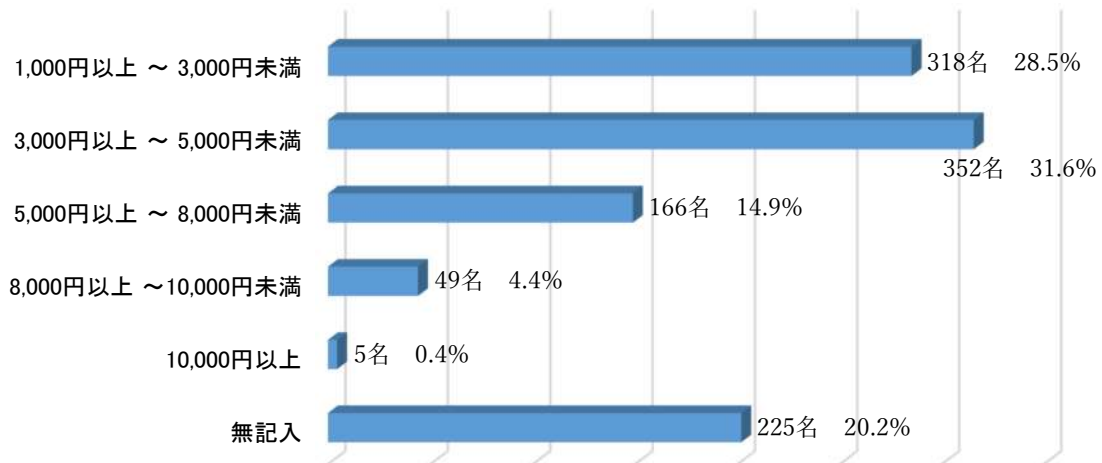
◆ オーケストラ・オペラなどの音楽公演



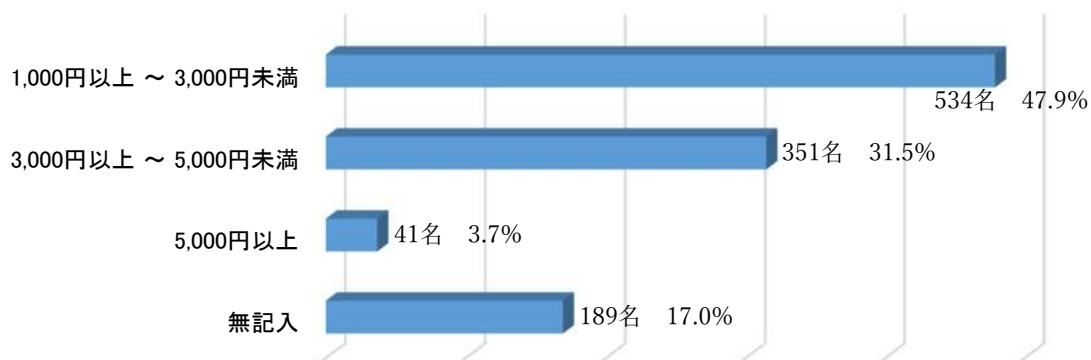
◆ ポップス・ロック・ジャズ・歌謡曲・民族音楽などの音楽公演



◆ 演劇・ミュージカル・クラシックバレエ・ダンス・舞踊など舞台公演



◆ 寄席・伝統芸能・演芸など公演



オーケストラ・オペラなどの音楽公演のチケットを購入する際に希望する料金価格は、「千円以上3千円未満」、「3千円以上5千円未満」（同率27.7%）がもっとも多く、リーズナブルな料金で鑑賞したい傾向をうかがわせます。

ポップス・ロック・ジャズ・歌謡曲・民族音楽などの音楽公演では、「3千円以上5千円未満」（32.6%）、次いで「千円以上3千円未満」（30.9%）と一般的な料金でも良いと思っている傾向がうかがえます。

演劇・ミュージカル・クラシックバレエ・ダンス・舞踊など舞台公演は、「3千円以上5千円未満」（31.6%）がもっとも多く、次いで「千円以上3千円未満」（28.5%）となっており、かなり低料金価格での鑑賞を希望している傾向がうかがえます。

寄席・伝統芸能・演芸など公演では、「千円以上3千円未満」（47.9%）がもっとも多く、次いで「3千円以上5千円未満」（31.5%）と一般的な相場と同等の料金価格で構わないと思っている傾向がうかがえます。

どのジャンルの公演も5千円以上の料金設定からチケットを購入したいと答えた方の割合が極端に減少するので、少々高いチケット料金であっても、鑑賞したいと思えるような催し物の開催を周知していく必要があると考えられます。